

次期科学技術・イノベーション基本計画の共創に向けた全国キャラバン

目的・位置付け

- 次期基本計画の検討に当たっては、科学技術・イノベーションに関わる多様なステークホルダーの参画を得て、幅広い意見の募集や連携体制の構築を通じ、**計画に実効力を伴わせる**ことが必要
- このため、大学・自治体・学協会等の協力の下、**①次期基本計画についてのステークホルダーの理解を深めるとともに、②次世代を担う若手研究者を含め次期基本計画を共創する機会として、全国キャラバンを実施**

実施内容

次期事本計画の「**検討の方向性(案)**」に基づき、内閣府から次期基本計画の検討状況等について**最新情報を説明**した上で、広く

- 「**未来社会の在り方**」
- 「**科学技術・イノベーション政策への期待**」
について議論

開催形式例



実施方法

科学技術・イノベーション関係のシンポジウムやフォーラム等の機会を活用するほか、趣旨に賛同する機関の協力を得て、個別に開催することも検討(オンライン開催も可能)

次期基本計画を含む**今後の政策・施策の検討に活用**

スケジュール(予定)

8月 「検討の方向性(案)」取りまとめ



9~12月 **全国キャラバン実施**



協力機関の候補への依頼や協力機関における開催準備を順次実施

次期基本計画の素案取りまとめ(年内)に向けて議論

実施体制

- ✓ 趣旨に賛同する機関と協力し、内閣府と各機関が**共催**、内閣府が**主催**又は**後援**
- ✓ 各種イベントの都合に合わせ、開催形式を柔軟に選択
- ✓ 経費は予算上の制約も踏まえ、必要に応じて内閣府が**支援**

本件を通じ、次期基本計画の検討に参画した協力機関については、内閣府のホームページ等において公表予定